



1 進路に対する基本的な考え方

「進路」とは……将来の自分の「生き方」を考えること、「内なる自分」と向き合う作業です。

将来に対する考えは、それぞれ個人によって違います。進路を選択するということは、将来自分はこんなふうに生きたい、こんな仕事をやってみたいなど、自分なりの夢や考えを実現する第一歩になるわけです。つまり、進路を考えることは、自分の「生き方」、自分の「進む路」を考えるということです。「進路の選択」というと、中学卒業後の進路先を選択、決定することだと思いがちですが、それが目標ではありません。どこに進学するかも大切ですが、将来、自分の生き方とどうつながっていくのかということも含めて考えることが大切です。そのためにも自分自身をよく見つめるとともに、進路計画をしっかりとたて、その実現に向け、今の自分にできることから始めることが重要なのです。「進路」というと何をどう考えるといいのかわからなかったり、また不安やプレッシャーから逃げ出したい気持ちになります。しかし、そこに正面から立ち向かう強さをもってほしいと考えます。では、どのような事にポイントを置いて考えていったらよいのでしょうか。

2 進路決定の手だて

①自分をよく知ること！

個性が尊重される時代となり、進学や就職も多種多様化し、いろいろな方向に広がってきています。その中から、自分にあった道を選んで進んでいくのですから、大変な作業となります。「みんなが高校に行くから自分も…」とか「見たところチョット面白そうだから…」とか「親が行けというから…」「友達に対して体裁がいいから…」などということでは、自分の一生を台無しにしてしまうことになります。進路を決定するには、自分の「能力」や「適性」、「興味」など「自分のことをよく知ること」が大切です。自分に合わないものを選んだら、後悔することになりかねません。まず、自分の心の中にある『私は、卒業後〇〇したい。』、『こうしたい』を明らかにすること。それを保護者に相談し、担任との教育相談の中で話してください。そこから、実現に向けての第一歩がはじまります。

※卒業後の進路には、必ず『選抜』という関門があります。『〇〇高校でなければ嫌。』ではなく、『高校でこんなことをしたいから、これができる高校。』という考え方をすれば選択肢は広がるはずです。

②進路に関する情報をたくさん集めること！

自分の進路に普段から関心を持ち、いろいろな情報を集め、検討することが大切です。もちろん学校でも先生から、プリントや進路だよりなどで情報を提供し、みなさんと相談をしたりしますが、直接高校の先輩の話を聞くとか、その学校の校風や通学の便を自分の足で確かめたりすることは、とても大切な事です。学校説明会や体験入学、学校祭などは、いいチャンスです。また、後日配布されるパンフレットや資料にも必ず目を通し、進んで情報を集めましょう。あとで「こんなはずじゃなかった…」ということのないようにしてほしいと思います。

※後日配られる『進路のしおり』は大事な資料です。大切に保管しましょう。

※進路だより・進路用配布物をよく読むことをこころがけましょう。大切な連絡はすべて進路だよりやプリントに載せます。また、メモすることを習慣にしましょう。また、必ず保護者の方に見ていただきましょう。(進路だより家庭保管用にファイリングしておきましょう)

③1年間を見通した家庭学習計画を立てましょう。

学習を能率的に進めていくためには、今までの勉強法を見直し、1年間を見通しをもった計画を立てることが必要です。1, 2年の学習と違う点は、「3年生の毎日の授業の予習・復習」と、「1, 2年の復習」を平行してやらなければならないことです。なかでも、1, 2年の復習をいかに効率よく行うかがひとつのカギとなります。しかし、3年生の学習内容もちろん、成績に関係してきますから軽視できません。時間を有効に使うように心がけてほしいと思います。また、具体的に何をどう使って学習するかを考えましょう。教科書、参考書、ノート、問題集、入試や学力テストの過去問、今までにやったテスト……。自分に合った学習方法を考えてください。今後の学活で学習の仕方や計画についても考えていきたいと思います。

④授業は積極的に！

3年生で新しく学ぶことは、授業の時間の中で理解しきってしまうことが大切です。家へ帰ってからは、2本立ての勉強が待っているわけですから、その負担を少しでも減らすためには、授業をいかに集中して受けるかということにかかってきます。受け身にならず、予習してきたことを、絶対この時間でわかってやるぞ!という気持ちで、質問や、発表をどんどんしてください。それが実力アップにつながります。

⑤家族の人とよく相談しておきましょう。

家族の中で自分の置かれている立場をよく考えた上で、家庭の経済面、居住地、本人と親の希望の違いなど、問題がないかをよく話し合っておくようにしましょう。問題があれば、その原因をはっきりさせ、解決できるように周りに協力をお願いしておきましょう。

⑥先生とどんどん話をしましょう。

先生方はいつでも、みなさんがいろいろな話をしてほしいと待っています。話をしているうちに、先生方はみんなの事がよくわかってきて、それぞれに合った適切なアドバイスができるようになるのです。休み時間や放課後を利用して、学級担任や教科担任の先生といろいろな話をしましょう。

※進路決定は、11月の下旬から12月始めです。2学期の期末懇談はその確認の場となります。この後は、自分勝手に進路先を変えることはできません。新たに相談することが出てきたら、必ず保護者の方と担任が連絡を取り合ってもらう必要があります。

⑦学校生活を充実させましょう。

いわゆる、教科の勉強ばかりではなく、部活動や委員会、係の仕事などにどう取り組んでいくかということも大切です。これらの事に積極的に取り組み、毎日の学校生活に張り合いをもたせ、充実した気持ちで生活することが大事です。学校に行くのが楽しくなれば、勉強にも意欲が湧いてきます。修学旅行をはじめ、学校祭などの行事では、ひとりひとりの力を惜しみ無く発揮し、みんなで協力して成功させてほしいと思います。また、だらしない生活をおくらないよう気をつけてください。いくら勉強ができて、欠席や遅刻が多かったり、身だしなみやマナーがしっかりしていなければ、自分の希望する進路は実現できません。また、健康面に気をつけ規則正しい生活を送ることは、基本中の基本です。

※家での生活も普段通りに過ごすことを心がけてください。家庭で役割のある人はそれを普通にこなしていくこと、逆にいままでお手伝いなどしていなかった人はこれを機会に始めてみるのもいいと思います。

☆今の自分は将来の自分につながっています。

最終的に卒業後の進路を決定するのは自分自身です。それに至るまで、保護者、担任その他、色々な人の助言に耳を傾け、情報を集めましょう。